

イチゴ灰色かび病の発生に注意しましょう！

1月上中旬の巡回調査におけるイチゴ灰色かび病の発生は、ほ場率が10.1%（平年値4.2%）で、平年より多い状況となっており（図）、収穫後の果梗等に発生が見られています。今後、低温や曇雨天が続くと、換気が不十分となり、施設内が多湿になるため、発生の増加が懸念されます。

本病は、多発すると防除が困難となるため、予防と初期防除を心がけましょう。

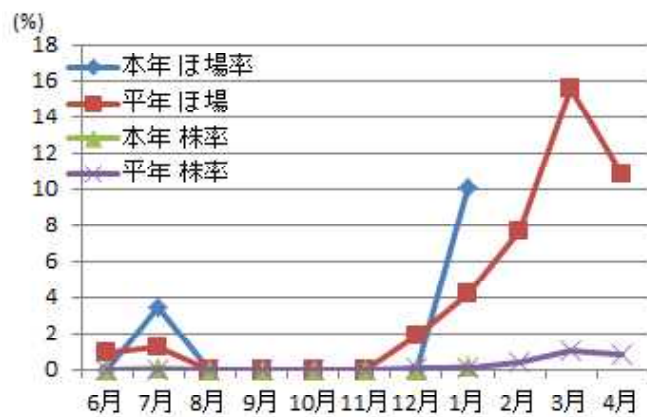


図 イチゴ灰色かび病の発生状況の推移



写真 果梗に発生した灰色かび病

【防除対策】

- ・ 下葉を取り除き、風通しを良くするとともに、施設内が多湿にならないよう、換気やかん水に注意する。
- ・ 発病部位や枯死部位は取り除き、施設外で処分する。
- ・ 微生物防除資材（ボトキラー水和剤等）は発病前～発病初期の利用とする。また、低温条件下では効果が出にくいので、温度管理に注意する。
- ・ 曇雨天時は液剤の使用を控え、くん煙剤等を使用すると過湿防止に有効である。
- ・ 薬剤散布を行う際には、薬剤耐性菌の発生を防ぐため、ローテーション散布を行う。

表 イチゴ灰色かび病に登録のある主な薬剤（平成25年1月16日現在）

薬剤名	希釈倍数・使用方法等	使用時期／使用回数
スミレックス水和剤	2,000倍	収穫前日まで／3回以内
フルピカフロアブル	2,000～3,000倍	収穫前日まで／3回以内
カンタスドライフロアブル	1,000～1,500倍	収穫前日まで／3回以内
アミスター20フロアブル	1,500倍	収穫前日まで／本ほ：3回以内
ジャストミート顆粒水和剤	2,000～3,000倍	収穫前日まで／3回以内
ロブラールくん煙剤	*1	収穫前日まで／4回以内
ボトキラー水和剤	ダクト内投入：10～15g/10a/日	発病前～発病初期／－

*1 くん煙室容積300～400m³（高さ2m、床面積150～200m²）当り100g（50g×2個）

詳しくは、農業環境指導センター(<http://www.jppn.ne.jp/tochigi/>)までお問い合わせください。
また、当センター携帯サイト(<http://www.jppn.ne.jp/tochigi/keitai.htm>)もご利用ください。

Tel (028) 626-3086 Fax (028) 626-3012